



# エコアクション21環境経営レポート

第47期(2022年7月1日~2023年6月30日)













### 太平電機株式会社

作成:2023年12月20日

# 目次

- 1. 組織の概要 (P.3)
- 2. 環境経営方針 (P.7)
- 3. 環境経営目標 (P.8)
- 4. 環境経営計画と実績 (P.9)
- 5. 二酸化炭素排出量の推移 (P.15)
- 6. 生態系保全の取組 (P.16)
- 7. 災害時等のソーラー電源システム (P. 21)
- 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (P.22)
- 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果 (P.23)

①事業所名及び代表者名 太平電機株式会社 代表取締役 樋口 公平

②所在地

本社 神奈川県横浜市神奈川区反町2-15-6

埼玉営業所 埼玉県上尾市本町3-7-6

③環境管理責任者及び担当者の連絡先

代表取締役 樋口 公平

TEL 045-322-5055

FAX 045-322-5057

④事業活動の概要

コネクター、スイッチ、ハーネス加工品、太陽電池、リチウムイオン電池の 企画・提案及び仕入れ・販売、自然保護関連雑貨品の企画・販売

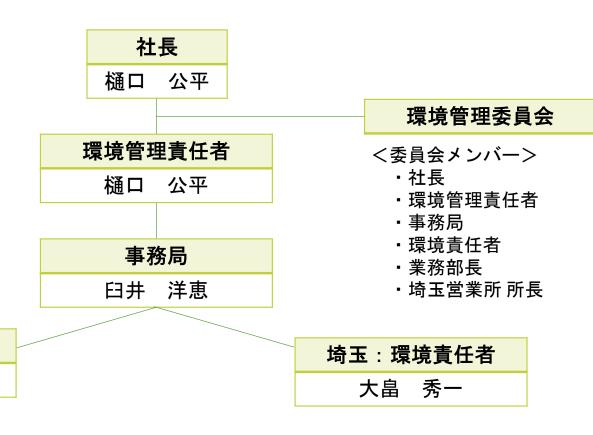
⑤事業の規模及び認証・登録対象範囲

事業所	床面積	従業員	売上高	事業内容	登録範囲
本社	$180 m^2$	13人	1,163百万円	1. ④項参照	全組織・全活動
埼玉	$200m^{2}$	8人		同上	同上

本社:環境責任者

臼井 洋恵

⑥環境経営組織図



### ⑦主要な役割、責任・権限

職務	主要な責任と権限
社長	<ul> <li>・環境マネジメントシステムに必要な経営資源を準備し投入する。</li> <li>・環境マネジメントシステムの実施体制を構築する。</li> <li>・環境管理責任者、事務局、環境責任者を任命する。</li> <li>・環境経営方針を制定する。</li> <li>・環境管理委員会を開催し、環境マネジメントシステム全体を見直す。</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化。</li> </ul>
環境管理責任者	・環境マネジメントシステムを構築し、実施、維持する。 ・環境マネジメントシステムの実績を社長に報告する。 ・環境経営レポートを作成、公表する。 ・環境マネジメントシステムにつき外部関係者と連絡をとる。
事務局	・環境管理責任者の実務を補佐又は代行する。
環境責任者	・環境管理責任者の指示により環境活動計画を実施する。 ・環境負荷データを把握するとともに環境経営目標の達成状況を監視し、環境管理責任者に報告する。 ・必要な是正処置又は予防処置を実施する。 ・適用される環境関連法規制を遵守する。
環境管理委員会	・環境マネジメントシステム全体を見直すために社長が開催する。 ・開催時期:原則毎年11月に開催し、必要に応じて臨時開催する。 ・出席者:社長、環境管理責任者、事務局、その他社長が指名する者。

### 2. 環境経営方針



#### 環境経営方針

太平電機株式会社は電機部品を販売する商社として、 地球環境の保全が地球全体の為の最重要課題であると認識し、 企業活動の全ての領域において、地球環境の保全に配慮し行動します。

太平電機株式会社は以下のことを約束する。

- 1) 環境関連の法規制等を遵守する。
- 2) 環境活動プログラムを構築し継続的な改善を行う。
- 3) 次の事項を重点的なテーマとして環境目標を設定し推進する。
  - ①電機部品の仕入れ・販売における環境負荷の低減。
  - ②二酸化炭素排出量の削減。
  - ③廃棄物の削減とリサイクルの促進。
  - ④グリーン調達の推進。
  - ⑤太平電機の商品が地球環境に貢献することを目指す。
  - ⑥生物多様性の推進に取り組む。

この基本方針は全従業員に周知徹底させると共に社外にも開示します。

令和4年11月30日 太平電機株式会社 代表取締役社長 樋口 公平

# 3. 環境経営目標

NO.	環境目標	単位	基準値 (43期) 2018.07-2019.06	47期 2022.07-2023.06	48期 2023.07-2024.06	49期 2024.07-2025.06
	目標値:電気使用量の削減 管理値:CO2排出量	kWh	15,605	14,825	16,825**	16,657
1	排出係数=0.462(H30年度東京電力エナジー パートナー㈱)=0.349(H30年度㈱LOOOP) ※調整後係数	kg-CO <sup>2</sup>	7,210	0	0	0
	目標値:ガソリン使用量の削減	トル トル	1,994	1,894	0***	0
2	管理値:CO2排出量 排出係数=2.32	kg-CO <sup>2</sup>	4,628	4,393	0	0
	目標値:軽油使用量の削減	リッ トル	2,303	2,188	2,165	0 *
3	管理值:CO2排出量 排出係数=2.58	kg-CO <sup>2</sup>	5,953	5,655	5,585	0 *
4	廃棄物排出量の削減 目標値:最終処分量	kg	562	540	534	528
5	水使用量の削減 目標値:最終使用量	m <sup>3</sup>	282	271	268	265

### 4. 環境経営計画と実績(電気使用量)

### 4-1 電気使用量の削減(目標値=14,825kWh)

<目標達成手段>

- ・空調設定温度の遵守
- LED照明
- ・ソーラーパネル
- 省エネ型エアコン(合社・2021年6月東与な)

(全社:2021年6月電気をRE100へ変更)

<評価>

達成: 12,318kWh

削減=ソーラーパネルと省エネエアコンの効果。

増加=営業活動が再開し電気自動車(EV)への充電増。

<次年度の環境経営計画> 電気自動車(EV)導入により実績値が増えるが、 ムダ使いしないよう心掛ける。







### 4. 環境経営計画と実績(ガソリン使用量)

4-2 ガソリン使用量の削減(目標値=1,894 に)



#### <目標達成手段>

- ・効率の良い運行(エコドライブ10のすすめ)
- ・公共交通機関の積極利用
- ・web会議の活用(社用車使用を削減)
- ・EV1台稼働中(埼玉営業所)

#### <評価>

達成:220%

web会議の活用(社内会議や社外の商談)、

埼玉営業所のEVによりガソリン利用量減。

#### <次年度の環境経営計画>

今年度の取り組みに加え、本社・埼玉全車両をEVへの変更を検討する。



### 4. 環境経営計画と実績(軽油使用量)

■実績

1.038

4-3 軽油使用量の削減(目標値=2,188 (1) (1)

#### <目標達成手段>

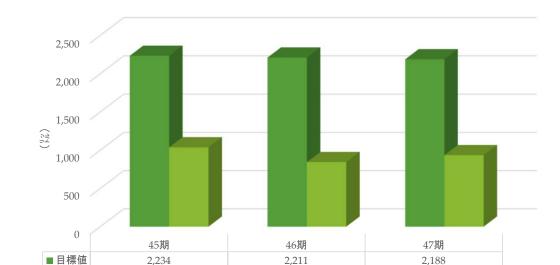
- ・効率の良い運行(エコドライブ10のすすめ)
- ・公共交通機関の利用
- ・web会議の活用(社用車使用を削減)

#### <評価>

達成:936%

web会議の活用(社内会議や社外の商談)による。

<次年度の環境経営計画> Web商談やweb会議を積極利用する。 EVへの変更予定。



845

軽油使用量

936

# 4. 環境経営計画と実績(廃棄物排出量)

4-4 廃棄物排出量の削減(目標値=540kg)

- <目標達成手段>
- ・ゴミの分別を徹底
- ・3R(Reduce、Reuse、Recycle)の実施
- ペーパレスの推進
- <評価>

未達成:1,019kg

本社事務所の全面改装時、設備の処分(700kg)による合計量増加。

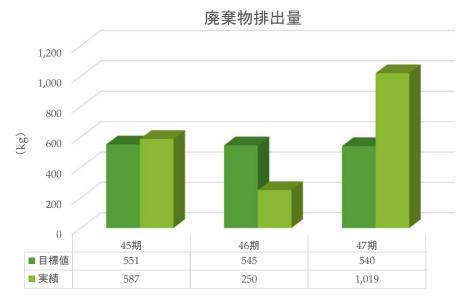
→本社事務所に国産無塗装木材のデスク・天板を導入。 「国産木材の流通と利用を促進させる事業活動の推進と、 森林環境の保全、地域経済の活性化、心身の健康など、 社会的課題解決を目指す活動」キイノクスプロジェクトへ参加。

<次年度の環境経営計画>

引き続きペーパーレス推進する。

廃棄になる商品のリサイクル・リユースを検討する(電子部品)。





### 4. 環境経営計画と実績(水使用量)



4-5 水使用量の削減(目標値=271 m³)

- <目標達成手段>
- ・漏水、垂れ流しの防止
- ・節水型トイレ導入(本社)

#### <評価>

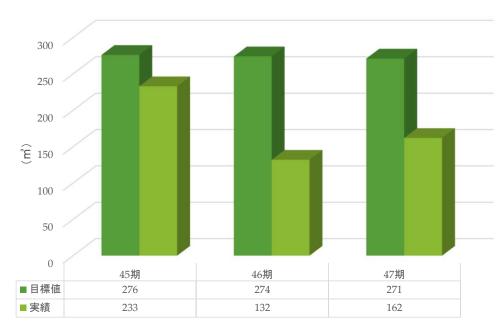
達成:162m³

出社がコロナ前に戻り、使用量が増えた。

節水型トイレによる削減効果。

<次年度の環境経営計画> 引き続き、無駄使いをしないよう心がける。 埼玉営業所にて雨水などの再利用準備。

#### 水使用量



### 4. 環境経営計画と実績

### (環境配慮型 コピー用紙への切替率)

4-6 環境配慮型コピー用紙への切替率

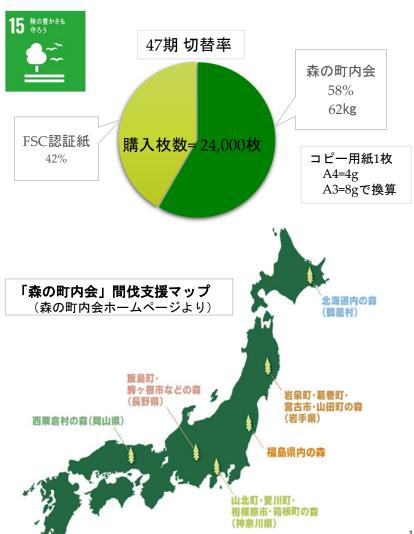
今期より、間伐に寄与する「森の町内会」コピー用紙の購入を開始。 FSC認証用紙からの購入切替率を管理。

#### 【「森の町内会」の仕組み 】

企業が環境貢献として「間伐に寄与する紙」を購入・使用し、 間伐費用の不足分を補完する仕組み。

1 kg当たり15円の間伐促進費を付加した「間伐に寄与する紙」を 購入して印刷用紙に使うと、間伐促進費の全額が間伐と間伐材の 有効利用に充てられる。

<次年度の環境経営計画> 次年度は購入(切替)率100%にする。



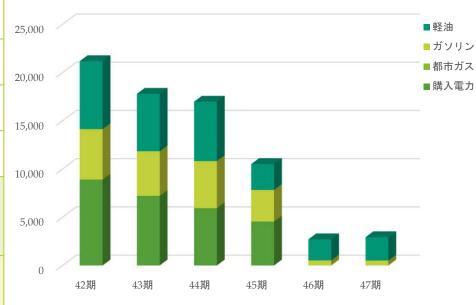
# 5. 二酸化炭素排出量の推移



単位 (kg-CO<sup>2</sup>)

エネルギー	42 <b>期</b>	43 <i>期</i>	44 <b>期</b>	45 <b>期</b>	46 <b>期</b>	47 <b>期</b>
購入電力	8,876	7,210	5,937	4,552	0	0
都市ガス	54	0	9	2	0	0
ガソリン	5,205	4,628	4,875	3,273	523	511
軽油	7,038	5,953	6,150	2,678	2,181	2,415
二酸化炭素総排出量	21,172	17,791	16,971	10,505	2,704	2,926
削減手段		埼玉 ソーラーパネル		2021.06 RE100	本社 省エネエアコン 節水型トイレ	

#### 二酸化炭素総排出量(kg-Co2)



・次年度、EVへの全面切り替え(全社)により排出量ゼロを達成予定。

### 6-1 生態系保全の取組

#### 地域の自然を守るタオル®の販売

無農薬・無化学肥料の原材料、非化学精錬・草木染による製造方法のタオルで、 農地や水系の生態系に配慮しています。

その十地の希少野生動物を刺繍したタオルを作成・販売しています。 「売上1枚当たり100円をその地域の自然保護団体へ寄付する」という取り組みです。 障がい者就労支援施設に包装作業を発注しております。

#### 〈47期の主な活動〉

★ 新規販売店 西表島/どうぶつたちの病院・西表 沖縄本島/沖縄博物館・売店 奄美大島/E'more秋名 栃木県/道の駅サシバの里いちかい

店舗合計数31店舗

- ★ 新規作業発注先 埼玉県 /就労継続支援A型事業所「リノ」 栃木県/社会福祉法人 益子の里のぞみ会 美里学園、社会福祉法人こぶしの会 第2けやき作業所
- ★ 新規寄付先/保護団体 栃木県/NP0法人 オオタカ保護基金 寄付団体合計 13団体 1個人

47期寄付金合計 2,137,600円(前年対比187%) 累計寄付金額 5,030,600円

















サシバ雄(左端)・サシバ雌(中央) ・サシバ幼鳥(右端)

### 6-2 生態系保全の取組













### 【環境にやさしい再利用素材や、エコな印刷を採用】

#### **★**クラフトビールペーパー

生態系保全への取り組みの一環として、ビールの搾りかすを使用して 製紙したクラフトペーパーを「地域の自然を守るタオル」の台紙用に 採用致しました。

ビールの搾りかすの協力は、横浜ビール様。紙にするのは 横浜のKitafuku様。



エコな印刷は、横浜の大川印刷様。大気汚染や化学物質過敏症の原因となる揮発性有機化合物を含まない、ノンVOCインキ (石油系有機溶剤 0%)を使用して印刷していただいております。

#### ★バイオマスビニール袋

包装フィルムの脱プラスチックを進めていくうえで、バイオマス10CPPを使用したビニール袋を採用しました。これは本来石油100%由来の材料から、植物由来の材料10%が使われているフィルムです。











CRAFT BEER PAPER



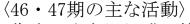


### 6-3 生態系保全の取組

【どうぶつレスキューボックスの販売開始 2022年1月】

奄美・沖縄が世界自然遺産に登録されました(2022年)

交通事故に遭う動物はいまも後を絶ちません。 アマミノクロウサギなどの貴重な野生動物の命を少しでも助けたい、 そんな気持ちからどうぶつレスキューボックスが生まれました。 正しく、早く動物病院に運ばれれば助かる命があります。 アマミノクロウサギなど交通事故 (ロードキル) で轢かれた動物を発見したら、 普段から車に備え付けていただく専用ボックスに入れて動物病院に運び、 治療に繋げて命を救うしくみです。



- ・傷病野生鳥獣保護対策事業に関わる診療施設
- ・レスキューボックス導入行政・団体・企業 (世界自然遺産推進共同体)
- 民間企業

奄美いんまや動物病院、ゆいの島動物病院

奄美市、宇検村、龍郷町、瀬戸内、徳之島町、喜界町、 天城町、伊仙町、大和村 9市町村 10公共教施設 9社











どうぶつレスキューボックス

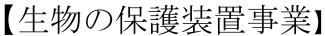


### 〈累計販売数〉・504枚

### 6-4 生態系保全の取組







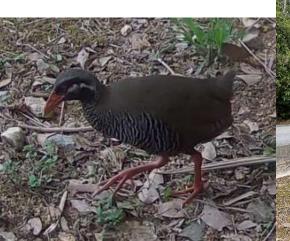
奄美大島 オーストンオオアカゲラ

- 絶滅危惧種の生物を調べる、守るために電子部品商社のノウハウを生かした取り組みを しています。
- 各地の自然保護団体と共同でその取り組みを進めています。



発信機調査資金支援





沖縄島 ヤンバルクイナ ロードキル防止 センサーシステム開発。現地試験中



日本ウミガメ協議会向け ウミガメ調査用装着タグ 新型版開発、実験中

### 6-5 生態系保全の取組

### 【企業・団体の生物多様性支援事業】

- ①企業団体様の庭、工場敷地などの野鳥調査
- ②野鳥調査結果から環境レポートの作成支援
- ③野鳥調査結果からネイチャーポジティブの支援
- ④庭、敷地のバードピア(日本鳥類保護連盟)認定、継続の支援
- ⑤環境省の30by30アライアンスメンバーに加入
- ⑥環境省の「自然共生サイト」取得の企業の生物調査、申請支援
- ⑦企業向け生物多様性の講演、観察会

日付	鳥類目録7版順		2022.12.03						
累計種 数	科	園敷地内確認種	裏山エリア	裏山セン サス確認 数		留/夏/ 冬	主な 利用	環境省RL	神奈川県RL
1	タカ科	ハイタカ			0	留鳥	林上 空	準絶滅危 惧	希少種
3	カラス科	ハシボソガラス	0	1		留鳥	住宅地		
	カラス科	ハシブトガラス			0	留鳥	林		
4	シジュウカラ 科	シジュウカラ	0	1	0	留鳥	餌台		
6	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	0	8	0	留鳥旅 鳥	林		
	ウグイス科	ウグイス							
7	メジロ科	メジロ	0	<b>3</b> H3	2 白	=田:	木	≪士	⊞ [
合計	6	7	4	②野	7 / 与	问:	囯	不可:	木
外来種	チメドリ科	ガビチョウ							

#### モニタリング調査で生き物たちの 命をつなぐ効果があると確認

場を創造するだけではなく、ビオトープの生き物の生息状況や 生態系がどのように変化して豊かになっているか、定期的なモニタリング調査による評価が必要です。その結果に基づき、 管理手法を見直したり施設の改善策を講じるなど調査とフィードバックを繰り返していきます。

「生物多様性の指標(ものさし)」と言われている野鳥の初回の調査を2022年10月に行い、15種類の野鳥が確認されました。

#### ②お客様の環境レポート











**(5)** 



ています。 ※ 太平電機日

⑦生物多様性講演





①⑥野鳥など生物 調査

# 7. 災害時等のソーラー電源システム

# (障害を持つ方のために)

おひとりおひとりに合わせたシステムの提案と導入

自然再生エネルギーを利用したソーラー発電システム(脱炭素)

・ベランダ用・車載用

停電時に家庭で電源を得ることは、特に医療機器を使用されるご家庭では 電気製品の停止リスクを回避する方法として必要です。

医療的ケア児支援法の趣旨に則って 災害時等の電源確保手段として事業を展開しています。

ご使用になる医療機器の電力や使用時間を確認させて頂き、また設置場所などを伺い必要なソーラーパネルの枚数やポータブル電源の種類や台数を計算し提案致します。

〈防災展に出展〉

- ・神奈川県立茅ケ崎支援学校 2022年9月 防災キャンプ 2022年7月
- 神奈川県立高津支援学校 2022年11月 『2022 防災のひろば in 高津養護』







## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無



法規制の名称	遵守状況の確認及び結果	違反・訴訟の有無
廃棄物処理法	遵守されている。	無し
自動車NOx・PM法	遵守されている。	無し
家電リサイクル法	遵守されている。	無し
小型家電リサイクル法	遵守されている。	無し
フロン排出抑制法	遵守されている。	無し
消防法	遵守されている。	無し
RoHS2指令	遵守されている。	無し

- ①遵守状況 環境関連法規等の取りまとめ表で問題の無いことを確認致しました。
- ②違反、訴訟等について 過去3年間、関係機関等からの指摘、地域からの苦情・訴訟等はありませんでした。

### 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

### 9-1 全体評価

実施日: 2023年11月30日

項目	環境管理責任者の報告内容	代表者の評価及び指示			
タロ タロ	<b>深境自座員は100取口的</b> 位	今年度の評価	次年度への改善指示		
前期見直しの社長指示への 取り組み結果	コロナ禍が落ち着き、営業活動が再開したが、 web会議と公共交通機関の積極的利用により社用車の 利用削減に努めた。 新たに社用車のEV車への入替が決定。 全車両がEVへ切り替わる予定。(48期実施)	営業活動が再開したが、削減努力があり僅かな CO2増加で抑えられた。 排出係数ゼロまであと僅か。 車種の不足で今期は入替が間に合わなかったが、 次期EV車両への変更で排出係数ゼロを目指す。	EV車への切替を完了すること。		
審査指摘事項の改善状況	1. 廃棄物処理業者の許可証の期限を確認。 2. 産業廃棄物の保管場所の表示を掲示。	指摘事項の改善についてはOK。引き続き継続を するように。	次回は改装以降に、緊急時対応・避難経路等を 確認する訓練にすること。		
環境関連法規制の遵守状況	法規制や条例の改正状況確認済。 法令遵守された。	法令改定の確認と遵守が継続できた。	引き続き、法令遵守徹底こと。		
環境経営目標の達成状況	電気使用量の削減・・・・・・・達成 (2021年6月から全社「RE100」電気に変更) ガソリン使用量の削減・・・・・達成 軽油使用量の削減・・・・・・達成 廃棄物排出量の削減・・・・・・・・未達成 水使用量の削減・・・・・・・・・達成 環境配慮型コピー用紙への切替率・・58% ※ガス設備廃止	本社改装により廃棄物排出量が未達成の部分に ついては、次年度リサイクル・リユースを含め 達成を目指してください。	CO2総排出量ゼロを目指す。 間伐寄与コピー用紙の購入率向上を上げる こと。 (目標100%)		

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

### 9-1 全体評価

項目	環境管理責任者の報告内容	代表者の評価及び指示			
<b>祝日</b>	<b>株売日任具は日</b> の秋日内廿	今年度の評価	次年度への改善指示		
環境経営計画書の実施状況	全体的に周知、実施出来ていました。	計画書の実施状況は良好である。	引き続き実施のこと。		
是正処置・予防処置の実施状況	廃棄物排出量目標未達成について報告書を作成。	本社改装により廃棄物排出量が目標未達成となった。	次年度リサイクル・リユースを含め達成を 目指してください。		
緊急事態対応手順訓練の結果	オンライン消防訓練実施(2022年12月) 次回は本社改装後に実施予定(2023年内)	2022年はコロナ禍のため、集合しての訓練ができなかった。 2023年は本社改装により、避難経路等の再確認が重要となる。	消防訓練は、毎年定期的に行うこと。		
外部からの苦情・要望	特になし。	外部から苦情等がなく良好に事業活動ができた。	苦情等が起こらないよう活動を継続のこと。		
環境経営方針	環境経営方針通り活動できた。	環境経営方針通り活動できたと考える。	環境経営方針の変更は行わない。		
実施体制	現状の実施体制で問題なく活動できた。 埼玉営業所の環境管理責任者を変更。	問題なく取り組みができたと考える。	現行体制のまま活動を続ける。		

### 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

### 9-2 環境経営システムの変更の必要性

事項	代表者からの変更の必要性の指示		
環境経営方針	有り	無し	
環境経営目標	有り	無し	
環境経営計画	有り	無し	
実施体制	有り	無し	